

かけはし



修了式，卒業式（節目を生かす）

修了，卒業の月を迎え，この1年間の活動を通して，心身共にたくましさ溢れる姿が多く見られますことは，保護者・地域の皆様との共育の成果でもあります。心より感謝申し上げます。

日本を代表する竹は，雪の重みにも強い風雨にも耐え，他の木々にはない，たくさんの節目をもって空に向かってまっすぐに成長します。わずかな風を竹全体で受け止めるしなやかさとともに，何百キロにも及ぶ力を反り返って跳ね返す力強さをもっている竹です。そのたくましさの秘密は，軽さと強さを併せもつ規則正しい節目にあるとされます。そのような力をもつ竹は，種から発芽するまでに4年以上もかかり，その間に地下で1年間に7～8メートルもの根を張って地上の竹を支える準備をするといわれます。やがて芽を出した竹は，節目ごとに成長点をもつことで1日に80～100cm成長し，2ヶ月弱で20mにもなります。目に見える成長の姿とともに，目には見えない支える力のバランスは，私たち人間の生き方に大きなヒントを与えてくれます。

節をつくり，外からの多くの力をしなやかに，力強く受け止め成長する姿は，子どもたちが目標に向かって頑張ろうと辛抱強く取り組む姿そのものです。また，この姿は私たちに多くの事を教えてくれます。「学びの過程には，外からは見えない心の葛藤があること」「意欲につながる努力の大切さ」「自分を支えてくれる周りへの感謝の心」等。

親や教師だけでなく，地域の方々を含めた周りの大人たちは，子どもたちにまっすぐな心をもって，たくましく育てて欲しいと願っています。しかし，現実には人間関係をはじめ様々な困難が次々と降りかかることが多い今日です。それだけに，それぞれの成長の節目において「めあて」をもって進み，振り返ることが大切です。その積み重ねが，しなやかさと力強さの基となる節を築き，これから出会う様々な困難に打ち勝つ知恵や力の源となることと信じます。



6年生の皆さん卒業おめでとう

校庭で元気いっぱい遊んでいる子どもたちの歓声が，春の到来を喜んでいるかのように明るく響き渡っています。保護者や見守り隊の方々をはじめとした地域の皆様に温かく見守っていただいているおかげであり，深く感謝申し上げます。

昨日，5年生が中心となって6年生を送る会が開かれました。「お世話になった6年生に感謝の気持ちを伝えたい」という心が感じられたすばらしい会でした。

さて，卒業式まであとわずかとなりました。6年生は，韮崎北西小の伝統を一段と輝くものにしてくれました。特に，下級生に対してのリーダーシップと思いやりをもった接し方には目を見張るものがありました。毎日の生活においても，よい手本をたくさん見せてくれました。話の仕方・話の聞き方・明るい挨拶・下駄箱の整頓・静かな廊下の歩き方は，これからもよき伝統として受け継がれていくことでしょう。

保護者の皆様方には，これまで学校に対するご協力に感謝申し上げます。6年生の子どもたちは立派に成長して小学校を巣立っていきます。これからも親と子の絆を大切に，日々新たな心で子どもたちの成長を見守っていただきたいと思います。

（文責 山口 正文）